

がん患者さんにご家族のための おしゃべりサロン

都立駒込病院
サロン便り No. 56
(2016年9月発行)



2016年8月12日に第63回“おしゃべりサロン”を開催しました。体験者12名（男性4名、女性8名）、家族1名（女性1名）、合計13名の方が参加されました。今回は、参加者の方から、化学療法をしている時の副作用と治療後の過ごし方についてお話を聞きたいという提案があり、参加者がそれぞれ経験された副作用や術後の過ごし方について意見交換をしました。



本日のサロンは三つのお約束事(①自分のことは自分の言葉で話す、②お話は評価することなく聴く、③ここでの話はここ限りに)と自己紹介から始まりました。お話の中から心に響いた言葉を紹介します。

○がん告知を受けた時は大変なショックだったが10年が過ぎました。

○オリンピックを見ていると、次の東京オリンピックを見たいなあと思う。その時にはボランティアをしたい！

○抗がん剤投与中は先が見えなかった。

○今となっては、検査ごとに乗り越えてきたような気がする。

○医療は日々進歩しているので、新たな抗がん剤などを期待している。

○副作用は同じ症状の人がなかなかいないので不安になる。

○主治医にはどんなことでも話した方が良く思う。

○手足のしびれは時間が経つと緩和されますよ。

○「頑張らない」「あきらめない」が私のモットーです。

○病気のことが常にアタマの中にある。

○社会復帰した時に活用出来る資格を取得するのもアイデアのひとつです。

○サロンに参加してみて、他人の経験談を聞くのが励みとなった。

○落ち込んだ時はみんなの助けを借りながら前向きになるようにしている。

○仕事に復帰したいが、焦らずに徐々にと思えるようになった。

患者さんやご家族のお話を聞いて、そして自分も思っていることを話してみませんか。スタッフ一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。

次回・次々回のご案内



- 日時：毎月・第2金曜日（13時～15時）
2016年9月9日（金）
10月14日（金）
- 場所：都立駒込病院 本館3階
患者サロン（中央エレベーター横）
- 対象：主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関に掛かっている方も参加出来ます。
(予約はいりません / 参加費は無料です)